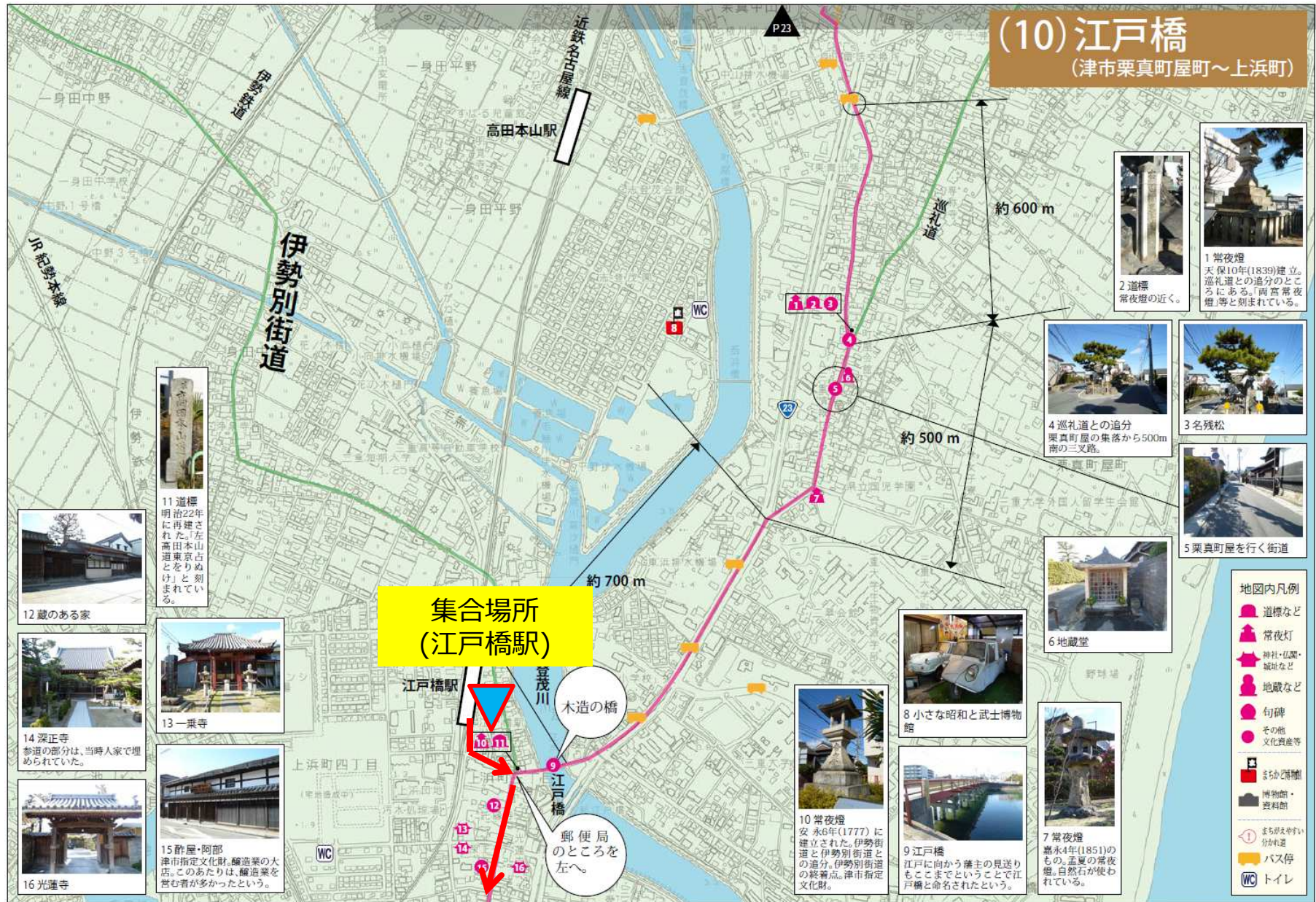
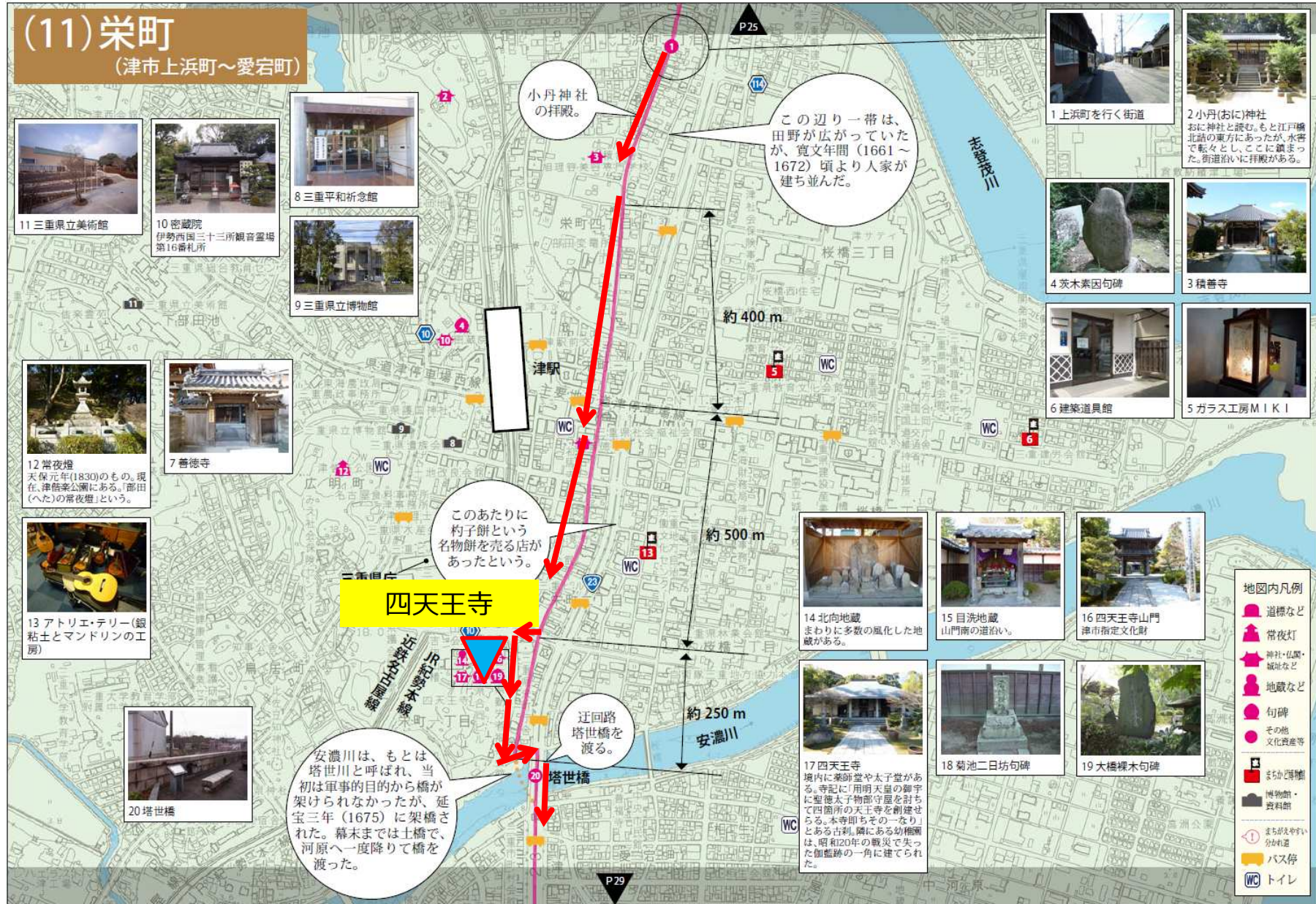


あのつスイーツマラニックコース図 (江戸橋駅→伊勢街道)



あのつスイーツマラニックコース図 (伊勢街道→四天王寺)



あかつスイーツマラニックコース図 (伊勢街道→観音寺→津城址)

(12) 津観音

(津市塔世～本町)

1 能面博物館「晤々庵」

17 津城跡

津城跡

蜂蜜まん本舗

津観音寺

地図内凡例

- 道標など
- 常夜灯
- 神社・仏閣・城址など
- 地蔵など
- 句碑
- その他文化遺産等
- まちかど博物館
- 博物館・資料館
- まちかどやういかなれ道
- バス停
- WC トイレ

24 大市神社
当時は川松社と呼ばれ、岩田の産土神であった。

25 宝徳印塔
天保2年(1832)建立。菩提寺境内。

23 阿彌陀寺
浄土宗。伊予国にあったが、慶長13年(1608)、藤堂高虎が津に移封されたときに同時に移転。

国道23号の東側の歩道が街道。

かつて商店や旅館屋で賑わい、問屋・本陣・脇本陣などもあった。

大門商店街のアーケードにはいる。

『東海道中膝栗毛』に「往来ことに賑しく」と記され、かなりのにぎわいがあったと思われる。

約650m

約650m

は土橋であったか、のちに板橋になった。二代目藩主藤堂高次が橋を架け替えた際、当時では珍しい銅製の擬宝珠が付けられ、街道の名所の一つになったという。

歩道橋が目印。

津信金が目印。

ミ工芸館

4 松尾芭蕉句碑

3 松尾芭蕉句碑

2 大宝院
昭和20年の空襲で全焼し、現在の位置に再建。玄關の所に、「蓬萊にきかばや伊勢の初たよりの句が刻まれた元禄5年(1695)の芭蕉句碑がある。

7 津観音資料館

9 銅鐘
元和3年(1617)と刻まれている。観音寺境内。

6 国府の阿彌陀
もとは大宝院の西にあったという。今は観音堂に安置。参拝者にとって国府の阿彌陀を拝まないといふ片参宮といわれ、参拝者が多かったという。

5 如意輪観音堂
「津の観音さん」と親しまれる。正式には恵日山観音寺といい、元は阿彌陀堂にあったが、織田信包が領主の時に弥陀を拝まないといふ片参宮といわれ、参拝者が多かったという。

8 鉄製礎受
嘉永6年(1853)と刻まれている。観音寺境内。

15 あかつギャラリー

11 銅製水盤
天保7年(1836)と刻まれている。観音寺境内。

10 銅燈籠
寛永5年(1628)と刻まれている。観音寺境内。

16 内藤まさを句碑

18 伊勢柏翠句碑

13 道標
明治25年建立。アーケード内にあり、「右んぐう左んぐうのあみだ」と刻まれている。

12 仁王門
昭和20年の空襲で全焼し、再建された。

20 仏眼寺
日蓮宗妙国寺派。

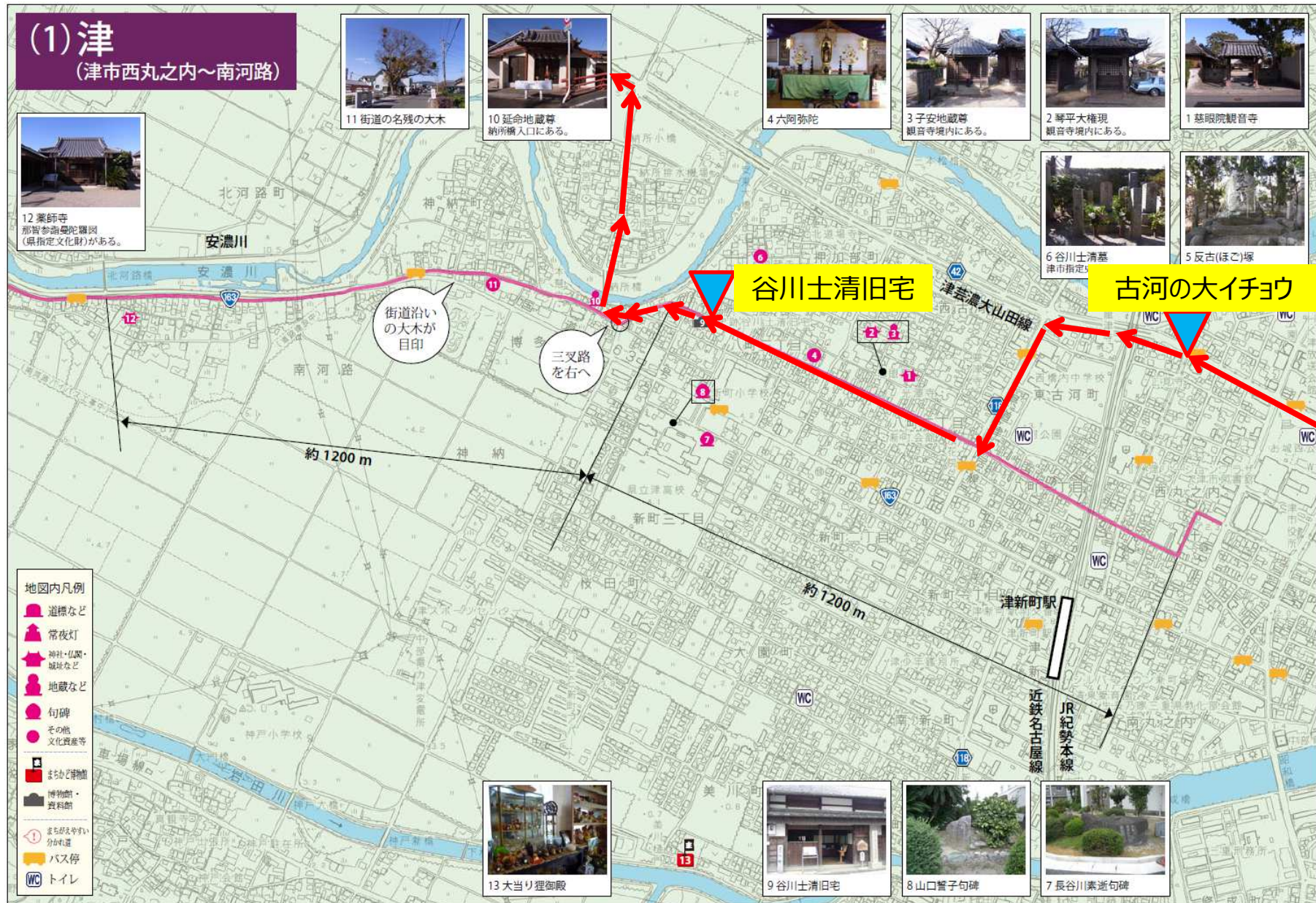
26 松尾芭蕉句碑

27 長谷川素道句碑

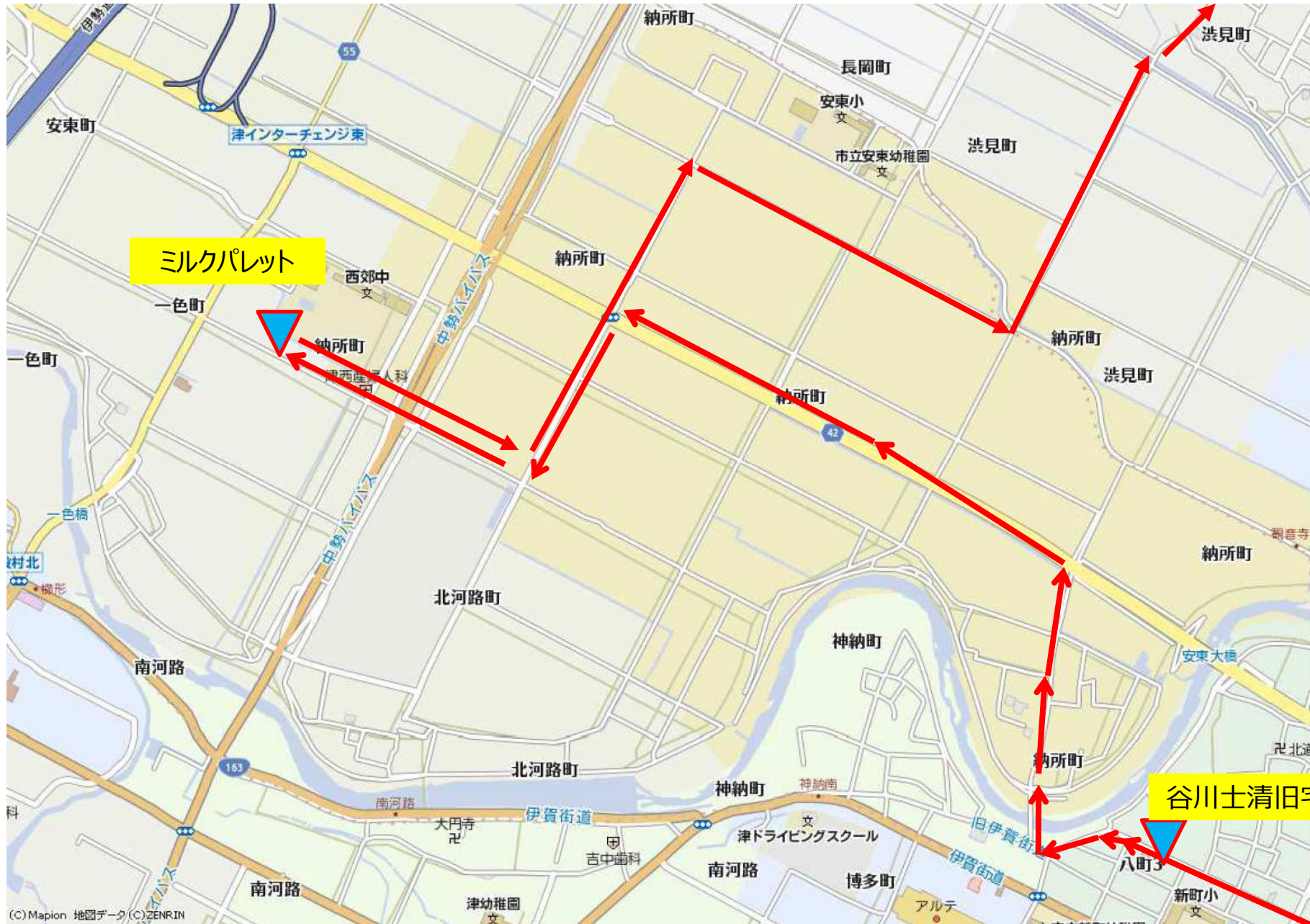
21 円通寺
13世紀後半の創立の臨濟宗妙心寺派の寺。江戸時代参拝者にお茶の接待が行われ、不浄を消す「清めのお茶」と言われた。藩主が神宮参拝をする折には、この寺で茶を喫することになっていたという。

22 浄安寺
浄土宗。

あのつスイーツマラニックコース図（古河の大イチョウ→伊賀街道→谷川土清旧宅）



あかつスイーツマラニックコース図 (谷川士清旧宅→ミルクパレット)



あのつスイーツマラニックコース図 (三重県総合博物館)



あのつスイーツマラニックコース図 (三重県総合博物館→一身田駅→伊勢別街道→コーヒーロースト)

